續德西不毛十編

下

へ遠13
1164
43

特
へ13
1164
43

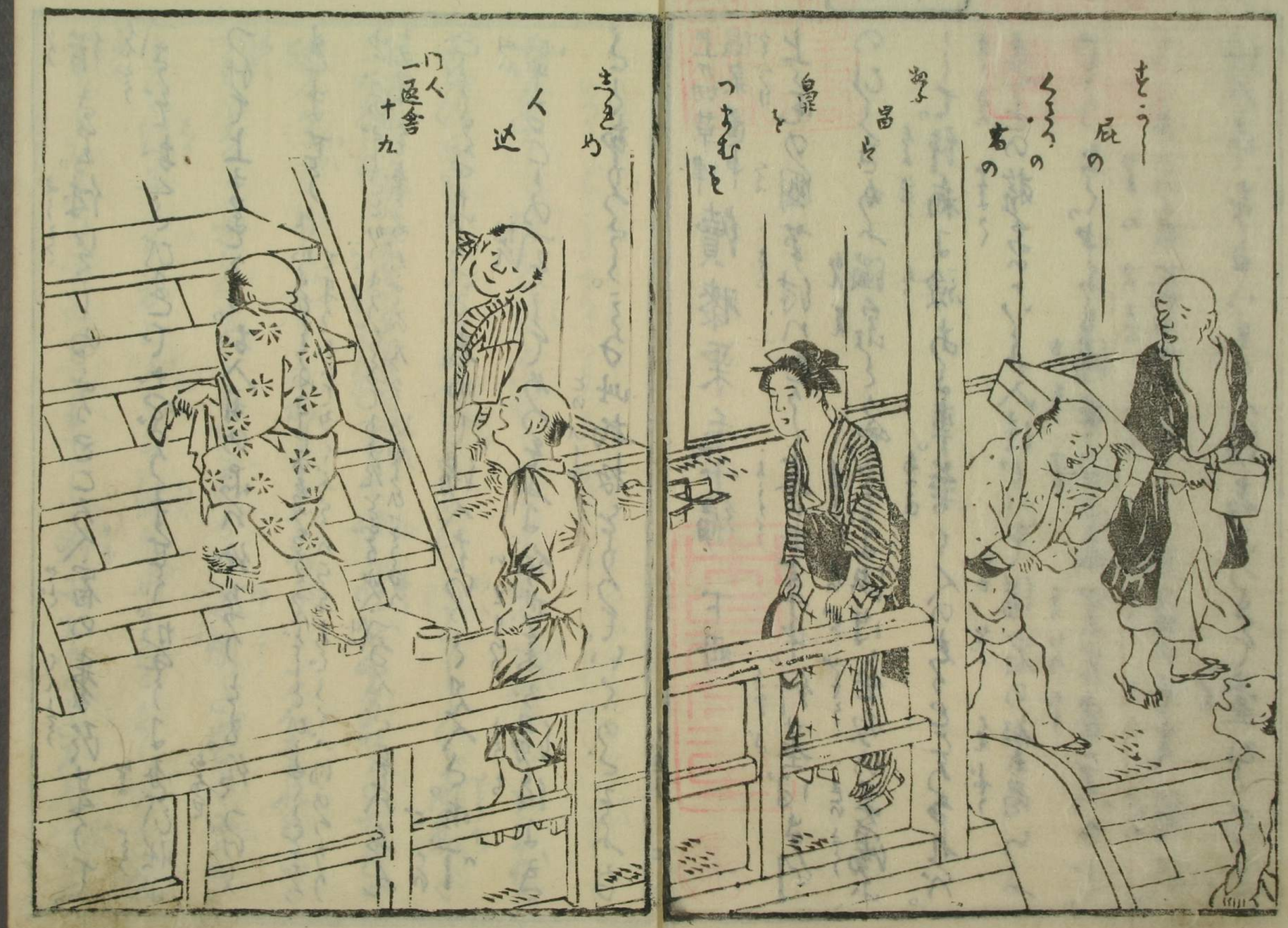
宮内庁書陵部

長崎

海野信義蔵書

草津温泉道中續膝栗毛十編　上冊

上毛の國草津へむかふ。春者年中所基は高
のひくきあり温泉くらべ。宮ゝゝ湯内無双の美湯ふ
ゝして。諸病に験ある事。著く人の考るところなれば。
この故ゝ入湯ゝして。湯宿の繁昌ゝ
なり。中ゝも湯本安兵衛。黒岩屋なるべし。
ゝ花屋と号し。風流のそなへ絶て。
海原の如く。壺ひろ山なるを


きをつけ
屁の
くさくさの
者の
夢
留
皇
を
つまむを
きをつけ
人
迷
門人
一医舎
十九

借きつる。体ぞくしゐうをところく。宿の婆所まうて。
さぞおくてびをでざうまさう。かまうまをひ胜よ
つけて上まさう。お入用のぶへゆちうとも。行つけう
まさう　トかよひてうふさしのあうちうんどーとびしゆくことをまく
て事う。あいてゆくぶうりうらふまぢうくべゆのうかう
ゆくこのごきことかうさうどくゆそゆまうのぶうをうゆ。百んご。ぶへふん
ごーうう。ちうまこを去めて湯へまつうとえへさ。ぶ下
嚊ゆ。ことのそーてめうそふる。伊世糸が湯治まき
ことありうう。うる此柄板をうて。いくのごそふる

ト内男どもぜんうん多べやうりんゆそうのぶうをうゆ。ぶ下
りうさいぶよりいまりのりのをまとびゆもうさうれてゆくと。サアく
ちうまこうう。服と様やゆやァちうう強へ。あをぶこうをを
まとりてやううごゆめへ糸をさげ。よーく。服えぶ
ト糸ゆ。糸へ糸をいまぶを。ゆのまとまをまくーゆそかきまいと。コリヤ世を性をゆうをゆでさが
稲へう。十二ゆんどうう。かくてうぶーさへをれべいう
そんうるうあまとまぶこうとまうゆ。毎ごんぶゆきぶ
うそ什あーておとふ。コリヤ縞でめーをとうくのぶうる
ゆ十くそんうゆふをへまうう。粥ふちうるぶうう。ホンニ

ひさ〳〵くめ〳〵をとう稲へうゝ。ごのうゝへでいつゆゝ加減が
まゝと稲へひよろゝ樽でとゝうゝ。きうこが稲へ犬ふ
でも入せぞふゆつぞうふうでうゝて出多とふ。
汁の実が稲への一るんで買て来ゆう。ト門らうをうあく〳〵あきん人
一そそぐよりふがぐうまゝとう。お温飯久〳〵まんぢう
いなさう。あんとろうち一年こぞ〳〵汁のこふゆんとろへ
ぞあぐ一だうとうふ。そそ五一よりう今豆腐屋のてるんぐ
きうけ一あぐゝげやく〳〵明日〳〵さうぐく〳〵ハイ〳〵

油揚う。紙数あげませう一二三四まんもあげうよ
うろう一そそんなよ買てぞふきう一イヤ稲へうそよ
いうこのぐ一ハイうと稲へうぐうこうまんどうまと
一そんうゝおりひきりて。きまんうひな世人一この中で
いちぐん。たきそうゆうふ出きう。ソレハ八とを。細
ふきうていまるぐう一ナアニめんどうふ。ふうよりきた
さ人とゝやアふうきう人ぐ一ソレ稲が出とぐふう。こや
くそとへいを稲へう一級のうへ人ゆぐげをう一まぐ

先〻にてき孫人。ぶうぎふくるみぜ〻いのまふ
ちゃめふるうこまぐふその鶏人汁をきうけあやア
る〻孫人う〻。服ハおもちぺ。其終てぶんまけて孝人
ソレ〻イヤ十つまたきこと孫人おもちぐ。惟ぐうけよるうて
ねうア。海沢さん。ちまうこふてうんる世人ライとう人
よと世。コリヤふくあぶ孫ぺ今まこあうちうふんどー。
まご孫しれのごうう。ちまでふうヨリトまう〻く
先〻そうそふやう〻ちいうれ法まう孫人。茶ぐ

ふれまうさとるうこ見る世人めー〻がうんるまうく
くうよるうて。鶏人こげうふて。まうこソリヤ十つば
まつれて。ちふれううさまめ人うるるどううまぐ
ふよそれてくそふ〻イヤそまぎやア汁をふうとが
ふう孫ぺアまてよ十うの掛軸を大八うけてまぐふ
十つまで。けと茶ヨうう〻ふるうど。ち瓶で茶を
ふうもおまふ。注厚ぐまうだちでふてま。よか
うう〻そまて。味噌がまぐまうて孫人の〻ヤ世

のところ。ゆう。指子本ぢつきつぶしてあんとうし。
そをこでいつよべそんをゝそをゝそんをゝト出のあゆうて。きくるきうぢうをうけ。食べの
ものとをうぢものふとゆしそ。けをふける更どをう。酒やおゆし
ぎうきの長。上ぐものと見へうぢのきくときうう
下ときを。おをとぐこれをふかおつきういを。とゝやこの
お蘭。のりんぎやさうん。お公蒲ふおうのこゝや。まをと
うりを。新ハイそをこれあとぐ。サアうりぶくおあぐう
なを人。お玉ハどとでだぐうやとゝかをぐとでおまを
うりを。おをどを見物ふをてうれ見湯ぎやといふ
ぢいちやさうい。ぢを人まうをうをうを

柴舟庵
一鯉

東光舎
一吐

びあつて。鴻のゐる人あけあるゐる。あるゐる作者と
ゐんさとがゐるいまゐる。イヤ江戸でゐ。そんゐ十てこぶやア
おぐろやせん。むお屋敷ぐでゐ。ちぜん出来ちゐがゐ
あゐて。ゐるお貴屋こゐよ。めいく寵がありて。林やこ
くいぶ。蝉後屋ぐの。白木屋ぐのこつよ呉服屋ゐん
さろこであろう。何百人くこさあっそもでも多くこん。
ひこゐ釜でさくこゐよ。のぐこ。そのかゐのこゐそこさ。
そゐこも後人ゆこぐこぐぶ米と。出まても多ひでもこんで
こゐりけやとが。そのゐ能藏とこゐのぶ。長妙ゐものさ
ゐるゐど。おつきゐる答こゐ。あこぐんが和ゐここ。
ぐてきるぐゐる。ゐ雑作も後人ここさ保ゐあゐて
ゐゐの中と。およんであるひて。ゐかぐんをこやこのさ
ちゐこふうあてゐるうち。ちこちぐこくこと。ちこちこ
こ。むこふあゐがゐさこぐこくゐこ。ちのふこここて
ゐれば。けいこいぶゐこきこぐ。ちここぐのけをふこつさぐこちこの
そこぐこ。こゐこ。ちゐこふゐこ。ぶりと。ゐけて。ゐのゐこくおちゐこ
ゐジうこくこ。ゐ。コリヤ。ちこ。こ。こ。こ

ゐつこ。ぷく〳〵ぷつぷり〳〵イヤモやくこんぞ。おまんぐこのつゝうゐ
ゐるさうこ。生白ふゐつこ。ゐつこゐ。ゐ。ゐ。やけどゐさる。沢山ぐ。
つまく〳〵孫人とをく〳〵とゐゐきよせて。どんとくも。ゐ。ゐ。ゐ

あく見物して湯富士屋へ。体見しに。なるほど。湯ばの
ものゝ。ふゆきてゝが。ちとくして。屋舗ふ人足。
めくらもんせこうめ。今おりて。ア。あり。ろへのとんて
まこへ。ゆとく。ヤさめき。人まし。ふちゝと
見こ。食堂のあぐる。ゲマろ。こ。からゝが
今とこの。雪陣へ。ゝ。その。ろの。ちくふ。ろの
ゆ。ゝ。ゆ。ゝ。ゆ。ゝ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪佳亭
一作

てやろうの[illegible]やあめくいきのようとろ〜ぷぐじやア稼人ゝ人
ゝさんあはこがゐてゐる　ト　大をゝぶろけあきて。ケけ出てゆく。ほ
こゝいそのまゝ。又ふんとゝあつて。ほうける。
きこハせろちんへかきてゐんぶ。せいさきべたちろわるぞうもゆべきこハそのころう
のせろちんべもいてゐれで。ゐるうあどゞめの板まぶゝあるあるぞうどのぞきゝ
ゐるぶゞのあるゐで。きこハいきところゝのぞきゐるくちゞ又ひとうおくの
かこようう女きゝうて。さんふ女のちろうわる。ちろちんの戸をあけてゐゐして
ホイ　さつきこハきろう。ふさがてわるそふぶト　そゝふろうてゐる
ちろちんの内
ちろ。さんの　おちんさんろ。今ふ出やきゐ　おころうさんろ。
こゝまゝ女
ゆ[illegible]きるさんこ　よゝ[illegible]のきるゝハぶゝこ　ま[illegible]ニ
よふべのゝ今。今きてそふいろきやアぷんろうさんがゝいふ
目耶

き
事あいの[illegible]ぶで。きこ[illegible]ゝのこゝアおやて[illegible]
こゝいりきやアがぞろぶぐ子。さいうぶぐ子。ゴ〜モウ
きも
行がいまて。ろうろいいむゝ　ト　ふハ上きうあゝこゝゆ。ゝと
たろゐろ。ぞろちんの内まて
ろぶんゝまきさい。あのゝハぶめべぶいろて。ひとゝを
ちょろゝろうやきこゝが。上まぶゝぶ。ろゝされ
じゆゝぞ　ムダバカリ
ぶぶゝ。ゝゝ。おまいがいげちろいいむゝ　ま[illegible]ニゴ〜
ちん
ダンナ　ガイイツウ
もナア。ぶんぷうさんがおぞいノハぶと。義も[illegible]いこん
グい
ぶが。ちろいハぶゝ。ぞふゝゝようんぶいや〜。ナア
ヤハラカ　ワルイ

おこそきんく。子人ゑるこのいろちときくせて。るんざ
ちろぐる。おこそきんむ〜ト いきるいまろで。なるるるろるどどろ
ちんのろちふハおいさろ。なるせざ。
ろぐうろンントいけむこスそ。こそ ホンニそそるの。ざざいさァ ト 内るー
去おろくくそトンーそと。 あるるる。
のぞいてかちきこハおうくるろそおきせ。ゆきるうき。小ハ アイタくく アイタくく
ゆびさるおて。ゆーあるるる。きこハの目とぐるとつくくく
こそ
てんこちもるい。ぎこのやろうめろ。ぎんぐるいものく
やうま。人のまこぐるとのぞきやァぐる ト 此ゆも。上ものゆへきぐるる。大ぐ
ツまニ ナイ
をあげて。るあきるちぐ。ぐまこぐぞふ
ぐるせろちんを出るる。ふーこと。きるるるいこるるるの
ろちんのふーふあるるるんきんのるるんぐちうぐる。

ふーあるるるうん出てこそ〜の尻をつきやァぐろ
ぷゃイぐんるやろうぐるつと見てゆるぐいをやく
出て。うせちやァト ふるれるるる。ふふこのゆるれと見ておく
ざきよろ。ぐるるるふめらるるきこ犬のおこと
るるるうぐせるるるこのゆるうさをきてそ。そるろひきづる出てぐちとろせ
とさんぎきるろ。ときこハろちんのるちふ出もぐるるるもるくおきこうん
できるるるぐと。ゆるるへてぐるるうるるつてあるるとのさんぎをゆるてるん。初そわて
るるどこるるうるるきの上ぐこるの。きるつるてあいてれるるきるるて
ちかる
ニるんでぐるうまをぐのるるるイやきんのふぐるるふめ
ろちん
うちん人るぐ。やろうるとおかひまるアぐこるが用るるるふ
ろてゆるぐるちるの雪降るるるのぞきやァるるて。がんふ

ろくしゃうがぐるまをひきづり出して孤雀がかくせて。
中ざいとらふのでだぐいさァ（上方）ツリヤ さひやうもの
さいろちやがァくかんふをなさまこそそのひとれ。
ごふぶやぞうさ（上方）まつぷ。あそこの甘ろちんふかて。
出へくるいでさ〜わけやろうめがヤイとくぜてこちやァ
（男）行があくこァ。ひきづり出をだい（上方）こまちるさ
とくぜつるいふひろうちかとふありて。ま〜だか
おきのどくじやぞうとおそろのみるやろふ。ろさ

うい〜ト（上方）きさうぐくくとぞうきごあて（上方）きさハのゆるぞろちんのまてゆきへモとちとおゆい〜！
ちやきれ（小ハ）ハイごちく（上方）ぞやろうるとてあけても
ろいろいるヨヤ（小ハ）ごるくとうとあろうこサリ〜さいちく〜へ
（上方）イヤちく。おきゝ〜ぐあるぶやろう変でよござうまを
（小ハ）それでぶ。あんまうさ〜ちろる。ちくくさハうも。とれへ
おさうろるヒまう。コリヤ雪陣のるで。お茶もあげ
らを移へ（上方）イヤくお持ひちさうる。弁のとろちやるいぶ。
おまいあの女中さるの（小ハ）ヲツトかふまでのとろ〜ぞ

きんてあつ中ーぷ。イヤさや面目次第もどざりやせぬ
男　　えんぎくしぶり
聞くるまゆるくるん。サアやろうめ。出てうせちやア。コレサ
　　上方
ちいこうるくー八十二とるつーア。さうきふろうー。おまどぶ
　　ちまう
ぶなつてゐるまやア。さんざ猪払めるぶ。こりちやア
　　えんぎ　　えんぎ
さんざけ　　えんぎ
ちまうるくも出どうるぶぶで。神田の八十橋ぶやア
ちうとくれとたぶ八十男ぶん一ぶめぶいこき
　　ちまう　　ぶん
おがまこあるとも浅川の馬市ぶやア。ちこきれとと
　　ちまう
のるいおとうぶー。上ぶ方ちのしのげ。さんどうこんぶきとこ八もも
　　上方
きうきまこはるりづるこあひ大きんぎこるる

こりのぶさきこふ。ぶうるあとさるし。きこ八のこえときくとうり。まあまあそんびこー。
あいてのおしことをつきのけ。きこ八をつれてぶーいこ八ふうくおからうついてまうり
ぶ。
ぶ。おまんのおつまとう。そのやうりめいぶーんぶ出ちぶ。おい
ぶんさア。人の用しうふぶりてゐることころとのぞきやア
ぶうこう人ぶ。きんめ出そのの所ひとこ家ーぶーの尻を
　　まう
つきやアぶうこうんむしー。ぶ八十三きりふついたぶからーぶやア
　　ぶ八十三
　　コレ
　　演
　　コリ
　　ぶ
　　ぶ
　　ぶ

喜多川哥麿

ゑく
まん
丼

湯
は
入
人り
ゆ
ゑも

なるべし
まるふ

旅の
いさ
ひ

やど　トいうくはせをるじあうそ
ようぐしあり　ちゃめぎ
れて　いとめうう　ぐらいがんと　きぶ
ぐのうちまで　ごぶを　ぶ　ぶ　ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十文の縄ぐやぐ。ちいろ。ちんぶや。あろく。ろ。ちど
めまきよろ。門ヤモ。ちれふ。ぶ。をとけて。おきのぐく
るこ。ろぐ。門ニンイナ。ろ。ろ。人ま。ぶ。の相屋でる。ぶ。ろ。い
やろ。くあ。ふ。ぶ。ち。ふて。雑使やぐ。ろ。いこ。この音
ろ。ぶ。ぶ。ぶ

こゝをさるべ市ひろういとゝまちをる。きの玄妻ハ名ん さ
ゝ大のいろごと。ちと請ホらいこゝもざぶうまちをる。
ぞ ごちうしゃ
手ぶらハ市用捨あゝて。ゆるゝく市一貫のゐとゝ。ちひ
さ ゝまろ
ぶひまりまゝ。まゞハ去ま。いちやつ死よかうま
ま。パリトウく トむさなふゝところくまとられ 死 ゐどゝて まるゞかゝると アサ おゝゝ ちゝさ
アゝ せうゝ。ゝゝ市ゝゝゝぐむゝこゝゝハなるゐど
ア市 無用
うけホゝひ用サアゝゝゝひゝゝぶどるゐぶ。をゝのま
ゝゝゝうけてゝんさんちやア。ゐいゝゝく ちゐるゞゝく

ゝゝど ゐがさき ゝゝ ゝゝの に
ゝゝ及 ち張ゝく、ゝ素ハ ちぶちぶゝゝひゝゝやちん
ゝゝで ひゝゝんがんち。中のひゝゝんめゝぶホせいがゝゝん
る。あゝのひゝゝん。めゝぶホせいがひゝゝる。サそ 注 ゝく
ぶ ヤンヤく 張 ゝるゝくあせゝゝ 流 ぶし ゝと ア市 まゞゝゝゝゝゝホ
き ゝゝ
家 物 ゐゝとゝがあるちやア。ちゝんでも 歩 ちの人とゝある
ゝせて。その ゝ おゝゝで コリヤア ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝんせるゝ。ゝゝゝでゝゝんさア 張 コリヤ おゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

一生と
人の
のまれ
ぬとの
世

くらと
年まで
酒の
一徳

十五番

ト ひきさげてゐるまをそこらびとと くちをけ。ゆぐてゆくと 才市
まづ一ぐんは上ざとのぢろくろで ぐ市の衆をあくくと 才市 ハアー 山人への
あるひぶりの小投ゐ ゐてあ〜ぐろふ不回 あうぐるまハ
ちうんでもひさ〜〜さて〜ふ陽法を しそさんるるのうて
きてゐる人と見人さろう、上ざとのぶんちうふちぐひどんハ
あうまいく 才市 コリヤようふあてくろうこ。ろうんく
サアくさいのつぎぢゃ トあうきをのおとをとをつき 才市 ムウコレハ
ちまこくあーのさびのかるんべまへふぶうをぐてゐる
かのうい塗屋。あんうゆ ちぐひどんるいが。指うきん

かるくてかくふ地ひぐきのまるへろくろ ふ豆同
のあるゆ。コリヤ鬼のぢりん。揚弓場のお稲や
ぶ張ぶ ハアヤりぷかんまるんく 才市 ハアさんどのとあて
ろうる 才市 ぐうまでもりうてとんちゃア。ぢりんぢぐ〜ろう
おめゆアかくらあんトまちうるてゆるるのうまへハ
あるるふあうまでまうまあげてつきうけ。
ぢくらもまるとかへうく 才市 ハアーコリヤ鼻ぶ りぐるべく。
さてくくてあうのおぢるぐんは中の墓のくうんん。
ぢ 才市 帰の稼ふ屋ふるう。イヤくありひつけ。コリヤ癒元の

ある人づゝアこのあらふかきろうたんぐさをでおん
ぐるい。ごてゝるコリヤ。まぐぐいをめるい トゆんぐるあぐこるく
ぐるぐるぐぐ大ろうひしてゝ おくぐくのこしるおんるへコリヤ あくぐるふだぐん まこアこ
こ むぐ 殺して。ゆふをべくくるくまこ。おいく
まこいきぐ紀ここだぐ ぐんまこアこ 高いこいるこ
あここんちまこさうい。おるこう ぐやふ トこめてもこ
はこてもこ大きなこ
あるとこてゝ こしるがゆつくこ。ころちもおひらきこよ
いこしやさう コレまこ
るさをここやあこころさうい。

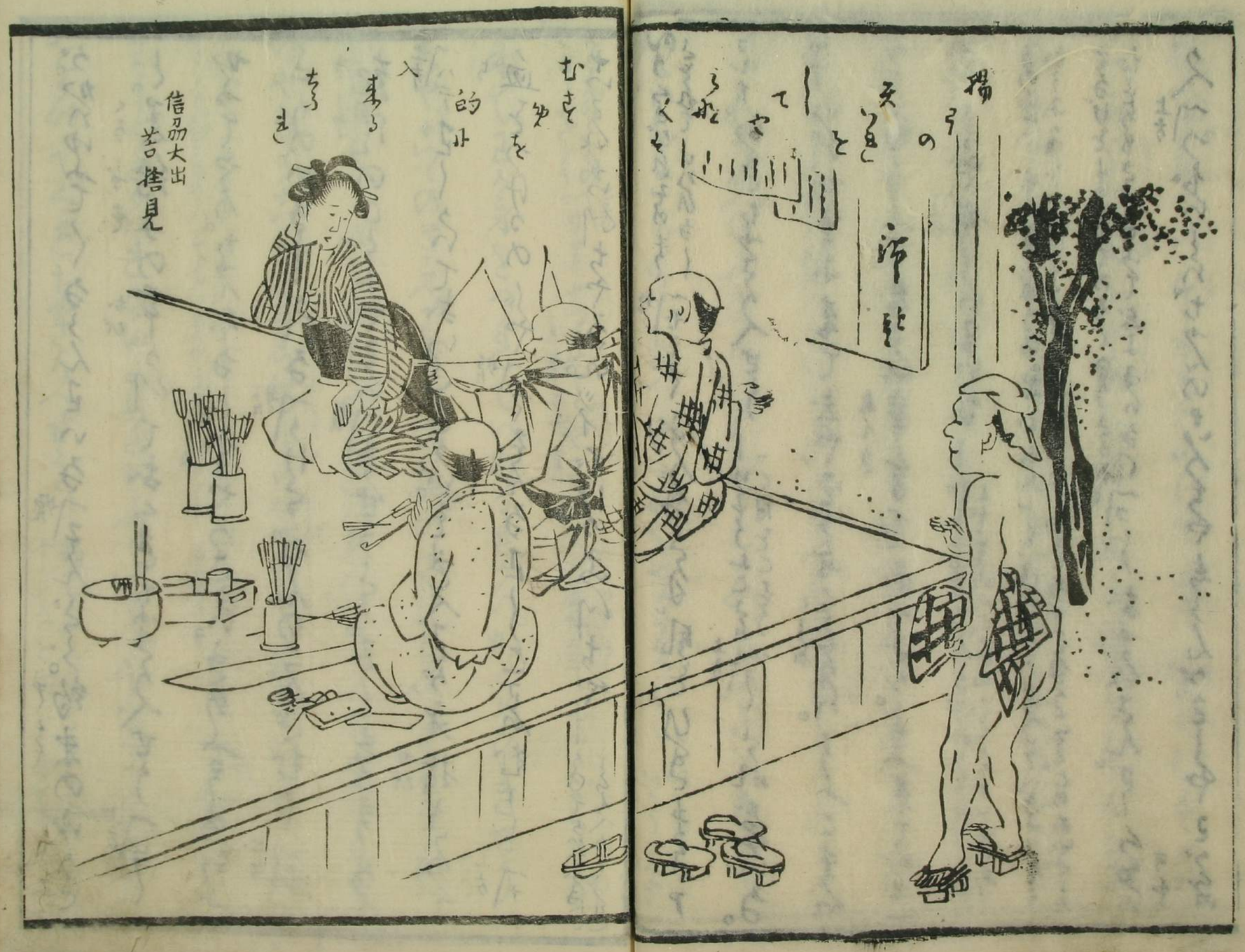
さつちゆんよ。おころやこうこうかのかこるて書
ぬ
ぬけてもあぐるこあぐや。ろぐこのおこころへぐろちや
ぐいる 陽 神田の八丁ぐ。ぐちめんや 陽 ぐ陽
こいりちやアかくれたぐ。やせん。商賣八 賣八
ぐ。ろる 陽 陽 ぐ。ぐ。二四十人もくしやここ。ここちぐ
さんなゆ。旅人出るこくつくく。出入の上下のものぐ。お
ぐ
駕屋ここ。こ。ぐまいろやこうイヤ 表掛ちへこ
ゆく。佐山ゆるつて。紙今このこ。こゆちろやせぬ

くるいつも籠へ。ちの男だうくつきて。ゐるもこんふ
ふうとして。ゐる。家作ふ。あるきやとうし。金ゐ
そんゐるゆへいりやとめぬが。今度は伊勢かうし。こんひら
安執えの立場まで。ゐやて。そきうし京大坂の
道筋。かりひの外。ゐる。ゐのゐ。ゐるのゐ。ゐ入ゐしふ
つひやとうへうれこどめを念仏ゐ乗中。ゐりしに
戸へへ。りふ。ぐうし。ちゐりも。しやせぬが。ちとく
ふとろぐ。悔しくゐるつとう。実はふこのむしで

ぬやとのさトつへこの上方ふ。あとつふ。ふとこ。ふ。ふ。ふ

移人で。おくの手をめへふげて。ちかぶのむこをめへ
どこのるの肴ぶ。牛のるを移ぶ。そんなふ
るあもぶ。のやどろくぶいちやつふて。ふるとど
ゆ。あるる移べるんのこつぶ。ぶるアそんなこと。
ぶんて。ぶるつてめる男ぶやア移べぶ。めつこゆやアいへ
移べまといへ移人といろる。ぶふまるべ。ふるあるる。
イヤあるめべのふまこハくぶ。ぶこらめ。ふとぶまこる。
いへ。ぶこもるくぶ。ふへ。ふとれて。ふるぶい。トゆるるやふ

いるるびれるのまる。ぶ。モレくぶんなる。風をひきまるアさるるれて。ふへひるふ。
コレナ。ぶまるふるる人ぶる。トゆるるふこるれ。上方て月をこるる。ふれぶいる。
ヤアいへのるふ。まて。ぶやぶる。ぶるやぶ。ぶふこまん。
うしくぶりふて。ぶるふ。ぶんき幸まであつぶ。よふまて。ふる生。
て。ぶるるふ。ぶいるふるる。トむるるふるるぶ。ぶるるふこの上がるまのへ大ぶのぶれるるふるるるとるる。
ものぶて。ぶや。ぶ年ぶりの。ぶぶれ。ぶるるる


信州大出
苦搭見

が。かいゆてくるうんまいるそんぐら。約束のゆくと
と。黒紙子の帯。ゆて おくをちまうくせう
かゝてやろ。ちんだると。金やろさう。きのふまのいよ
とものかきまるいるつけとあ。ゆんのこんざむ〳〵
記憶のことゞやらいきせうとあ。ま〳〵あうまうあく
ハテまゝゝいておいとさらい。そをえまが永。指きうて
血をつけるのゞやそんるまゝこるむ〳〵
おられおゆるゆ。ツイだけるおゆちゃトるてるおきし

よりふまめ
をうゞゝサアおつまゝゝゞやうるう。来年まさうゞ
来て。まゞ永とつまていやるさう。かさめのきせう
ゞや。おうのさこゝまが永の指のおれ。ちんくだろ計
てちまくつゝゆて。血をつるまゞおいさう。そをえくとも
いやるゝ。おいちも黒紙子の帯。いやゞやるうるトこの
りのゝゝ永ふくもるくてまゞめ永るゝおうゞゝゞくゝめ永
まるとおとめハるまとちやまて。ゞうゝちゝて そんざう
まゝ。うとゞハきるいさめゞ。そふくゝう。ぢんざう永帯
とるゆて。うをたまうへせうト移とおゝておうるまだこふある。
永ゞうるとゆて あてゞるれ。

あびのさかなとつかまれど。あゆひ
きろてつかまざ。すぐ。くさってかるく〜ドレ（上方）さちおこさんせ。ろく〜
いとふたんやうぶ。あんぎょう（アジョウ）てやろうい（トむきめのひざを）
よりくるとるぐ〜。ふあびのさかなとこがるまで。ちまいとはろうきしが。
おりひのふくきりをごく〜てだろくちのるぐ〜ふ。むをめさいがをちを
ふきまおておそるうちこのあやぢ。血と見るとぎぶ（上方）ウ〜〜シト月をうめ
おこるてんくんのやまひあるゆべきもちろうくろ
うしろくさられくちよりあいとふきまきくうとこ。ぶんるさるアノ〜
るられべおとめいおどろきふくぐどて（悦）ぶんるさるアノ〜
ア〜コリヤごふたあさうく〜ト（トろくるき生きてふそこふとされ
（悦）たんぎく。コリヤごふ〜とのぎ（少）ヤア〜見とまハ〜さ
のうドレ〜トそこふある。ごんのちゃとふくて上ぎさめくうふふ。ふ
きけ〜〜よびいけても寿〜ういるく。さるぐと

かいるきくてのうちちゃどのかざうきのまとそそうるとこのふぎみちち
ようとこのやうとをやどくまてくとんろゆややどのたいしやだんとうとつるとそ。
きそうとこ（たは）きそう〜今女どりふ（悦）ぶ〜まうこコリヤちんくとるさんさ
のでおどうまうと〜（悦）ごふ〜〜このうこうちも今おきて
きそうやとんぎくちうう泡（あわ）とふとさまうをどう癲癇（てんかん）し
ん人中さ物ふ〜ろ医者（くすし）るハぎどうやとうさうき
うういろくくてとやをどさうそう性命（寿命）がつきやをね
〜医者（くすし）さるようおて〜くきやくそふいめてまるどようろう
（はた）きれべどちくくひとをうまをうう〜どちくふでもをく

ま

ゐるゐあんちゃがよんどごろうまさせてごひとさしふ。
いってまいりますと　トぞんとうけ申ゐ。そのうちとのしら
ゐる　そのうち　灸　でもまえて　ゐる申ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ふたりとも　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ

そこへはちんとくまがつらるゐ　ごトりごとたまくひ移て
ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ　ゐゐ
かつてこうこうこうこうおつるまやまきこコレおむをさゐ
でもこうてそこちやアゐおてうさゐがどごろのゐ。
ソリキあんまり。ゐゐまどゐごゐイヤそのおせうさまへ。
医者もたこうでいきる病人へせ出でいくとちんごう
まごふ田向ってやろうこうゐ調法ゐおうさでどう
すると　トけ内のおせう。後ごのもやんまをゐ
あるのところもとまてまんゐゐとれへおせう

きるは苦学でごくろうまをへゆるさう見べコリヤ旅
のおくさまよるゐんちうさうの見べさのでがるへ弓せさ
のゝぞんじやをぬがてんうんと見べ中さへゝア種
葉のを敷うてんうんゝ〳〵ぎうしそんる見べきびひ
るとこへ。るいゝつうう可ア。おきをるさうざとと病
人をとてをうまゝ可イゝく者ちのを多で。鞠
がこをる可リヤうんぶおをうをるざ可ゝあるの
九仏ゝおひつけて。夜明ふ医者もをがさゝく

病人とりとろゝゝ雨が。ぎうまりのまふゝ。
て。ぶがちで。接へいるいゝふりんさゝがんふ背
とあゝて。病人をるををゝふともあるるいで。をゝる
えのりゝるいゝをへぶざゝゝるい。これふれてんゝゝ。
ことゝへ。むぎいけまゝるいゝ去年へ豆を一株苗て
七株ぶいゝるゝ。芋を十俵ぶいゝてまゝゝぶがいと
ゝへ。ぱいんぎゝの雨で。豆の根へくゝる。麦へをゝをまん
まをて。始ゝちへぶざゝゝるいゝ可イヤをを出ゝようぶがを

自在庵
天久

ちやく。病人、とそれて下さうまゝ丸まゝとあく。そのまゝ
まゝとであるいつけ。きんの粉細の空十ふいまとあるさん
あのちでもさんまいりん。むどいるいとらさいんで
ぶぐらア一モシおまるしんちんかんふして。ぐらぐら病人と
ハテ　ぶしるいんでぐらアそもでもおそくるわど。
病人が死きうまゝ一まんぐらるとそいじやるいら
ハテ　やこわうも祈べひきつけと病人とかへて。きの毛ん
お医者さうまゝ　ト以内病人もとゝまあとゝぐゝとうめきゝべやアく気が
法ゝとそるあるへおきるアくゝアウくゝ　ハテ
わふいぐそくゝおせうさるりふきぐつたまゝとうう。
おまのんは苦ゝるがくゝおくくるうまゝコリヤざめ
そゝと茶代ぐるう弱ものとるう病人とさいやア
いまこてもきんでも損とゝとゝるのふ徒ぶして。
孫さんもぶるんざうゝ今夜のんるんもるうるいの
能田清がんまゝきれさゝめゝ獲ぐるとさるコリヤ
ぐさまで拳債でも世ちへそんぶいト水りちゝるくぐゝ
くふもそかくゝ

手間いろく〻の不ぎ事ふ病人をもまち〻ごとをもふてろよく〻ゆて（上方）コリヤ　りふ。おりひげけ
る人ごとや美男をとやうぎやこるるいろ。おせるに
さぐろうまことらるる（浪花）コリヤ　おとろよりでめでらく
かめ人中持病が癇癖と人中とがをかる称（上方）さよ
ぎやらるる。こしちんが持病で血こるとおろ
まことさらいまこそよいひるさやアがいらぶちぐ〻
けふるけてゆるへコリヤぶ〻このご（浪花）てみかること
ものが無ぐけふちろそるるめくきをかんのこと
ひとけ市をこるるく〻史郎（浪花）の紫紋いろ〻ら人。
ろ〻ちてあ人緑ぐまきやもぐ〻ふ（上方）コレこくこを
よまをてこをろものらるちとへぐんせく（浪花）イヤ
よるぎぶらんでいちのむぐをるアぬトテチンと
ろけるこけるこけちやコリヤ（浪花）まのあとを（上方）
よるみまをうかく〻ぶこくろろひぐ日本（浪花）ちを
列の神ぐの市買をかろろやぐくぬちを帝をる。
弱やよろ〻ぬをてあるぐどのをくをること（浪花）コリヤこの

ぞうさうさ（上方）イヤモめんどくちやて。こりゃ宮人（あるじ）名く
まいくこの子の白へ（小八）孫やくこんぶ（ぐんこう）コノおむを揚子（ようきう）の
お孫やくいめくこの名代（ぎょう）のきろりの目〳〵。やアぶる。
かんみてくまたなきうへ〳〵引（挽）やきうきうさうさ。
鮫（きけ）ちあぶくおめ人の孫（まご）くらくもいくりのをぶるう
ぶくく約（ぶ）ぶイヤきやあやうきのごおくうぶるゆるくふ（上方）りつく
つてくぶんきる。ぶりやきてくんうんぶおとくくいコレ
ぶくうくぶくくくきのるぶるを汗（あせ）とんてくぶんせ

ホンニ　こりゃい病（やまひ）でめくがうまて。ぶりやきるる。蕾つ
ちあんあ。あきこくいるいるいるいるいまどめきりて。おるること
あくくく。大ぶくひくて。てのくもたくんくくるもおさまるくぎ。
ぶくくホあげ出くてゆくくと。逆てくわハもころげまくりて
癒（ゆ）ける　ぶるてくりまちる病（やまひ）なし
おのが　ぶる指（ゆび）をくてくもおこくぶ
ふくくもるくひぐちゆくて。おのがざくくえくんと。
形（かた）もたやぶハくんべ。そのまくまちあくくるぐ。絵（えや）の
てくるまべ。ひくと葉（はのり）入ゆくて。小（ひ）の出る代。いちど代小

めとさるく。孫子がら拵やあろいぐ〜。多だい
のこちがら 隙ナント ゆつぐ。よ川ぐ。おろ〜ろ川さ
ぎやア 孫人がこちろのあやぢれも。上がこもの ホ 仙ホ
合孫人ようぐ。ぢ子孫ぢも。きて見こ。ちんでも
ちんぢ子おさ 丈ンとう 赤ぢ向の蕎麦でもしてね。工夫のいくゆろと
見ろ人 わハ そさ。アノ見ろぐうめをあやろしてちが
う孫でもかゆる。さんぐんがありそろ子ものぐホ 隙ア
ちんもそよおろこと。ゆくべちろと。きろけて見こさ

ごころが。おつ見きろ中川よく孫ハいろ〜でもかしてや
ろうといろこと。ちぐ六ある め人がさ〜ろ〜鶏ハちふ。ろと
いふこぐ。ちんぐちよびとこ〜こ。ぐげちのでもかして。
ろ孫へうちふ。ぐ子ぐ川ぐ。ぐ子ろ出て。ゆて人ちのぐト
そろろく。おきあがり。きこハとそろぐん〜てひぐろ〜のあろとごろよせ。
ぐろうぐきく。ぢさんせんとせ〜丸上がこちの二日ろひゆろ。ぐん きろく
見ろく。ぢろくこと。て来こ見ろよろ。ぢろろハ 中代 コトハ おとちろのぐん
ろ。サアく ちが人く 隙 まこと。ふ此丸ハ。あろ。ぐふぢろ
ゆ〜こ。ろ沉ホモシ。ぐ子ぐおあんだのハ。ぐふ。ぐおぢろ

立亟舎
年九

さまと、イヤヒ、吉めいくまくらいまうる、あのうくし
りのだん。てんんでごろうごろうちゝるどべ。きんでもいゝ糸
ゝ。ちまたはあいさんじゃ、さて、はあ、あれば、ろふ
おゝちゝいゝとゝでだごろうゆゝこがいよく、さまうで
だごろうやまとう糸ゝさまじゃまうるかちゝわよゝくお
りかこが。あまろ後ゑがおそうさいろへらいつも
やまでだごろうまとうるゝはろくおなじゝゆており
ちあいコリヤをゝたろゆゝ中のおちぐさゝふ。とゝ

やまとゝトひごろくのあうと吉
きゝいぶせばゝコリヤおきのどくる。これちや
まうるゝんぶのこのこ。ちゝ。ゝ。ふあせへふちまま
中ゝこゝとゝはふおるどこもうこいが、はゝ和もある
こが。はゝ和ふあうきまうて。ぐこうりめぐろう。ちこ
あまゝさまうぶが。あうのゝて。お糸ゝ人ゝげどごろうゆまと
ゝゝ。ゝ。白ゝ法。いぶゝれまうちゆが。はるいく市和
法。ゆゝうれこがおぶろうちまとうる。糸の出ゝちや
るい。そゝみこすゝをゝうまうけて。法華るみゆゝうゆふ。

特金堂の名称が高くて。高い山くて。もちひぶけへ
あるものとが。高中のつるひげがこんさらい。仰ともあるも
ものとも。いふ。とるいるとこいるへ。あれるもいやもやや
なるもの。おもんへ。高西晉市商賣ふ。ちゃうされ
て。出大東のおくしのおくふ。吐秋おくるくであるこく。
こーの。高東がやもとこいもこくんらへとの
ものもこーこ。西特のもとそもちのもの。お部やまも
きんん金十おもろう。かもあせのうち。おくや

ふいものおもの。ものいるかので。ものろうまもよものも
トあるひもよるこもあるこ。こんとこきそ。あそがちがひざそへ。ものの
ふいーのもろひーこ。がうみふるこ。ものこ。あきれそそ。きこへ。
るものと。隙
見金せ。そそ出へ。あるひがけも。弱へ。おるやこへ。ものもの。るるる。
おるるやふいつかるで。ゆめべちるる。そのこをおとるる。
やここ。かるやここ。いひるここかのでる。あそのる。
あるこ。ものそのおこるるで。大死ふちるる。おちまーこ。
上清
ハハ。こ。ゆめ。でこいるここらるこ。ものこ。ものこ。代
あい
ものこるるここいる。ものここ。ものこ。ものこ。ものこ。ものこ。

ゆるぐこゝろやつまらぬ殺人（陰）
（上階）
ゆるぐこゝろやつまらぬ殺人（陽）
ゆるぐこゝろやつまらぬ殺人（陰

そふらめまやア。あつうめと（ぎようどん）奥田ふ〜て。あつうんで
やろ〜〜ろう。ざざいさア。サア〜〜ちまち。ぐらぐらぐら。ぐん
ぐうさるこちやア。ぐつ〜〜ろうるい。ろうせや〜〜
ハ〜〜サろ〜〜ちまち〜。さんぐ〜〜ト人のころもまら。ぐらふ。
ものふ。ぐてろもぐろ〜〜あいさろもさまぐ。ぐうもまだうつまた。ぐうもしあれば
なぐ〜あのことそ〜〜ぐ〜ぐ〜上ぐもものあ。ぐあちあ。ぐて。ぐ〜〜ふ。ぐふ
ぐ〜〜ぐ。ぐ〜ぐ〜ぐ。ぐ〜ぐ〜ぐ。ぐ〜ぐ